

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名:生き生き高齢者、遊びきる子ども～アクティブ“コトウライフ”の実現

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
ことら流「アクティブシニア活動支援」 活動実態調査結果に基づき、外部有識者やアウトドアに詳しい地域づくり協力隊員を構成員としたアクティブシニア活動支援検討会を開催し、より時代に合った高齢者地域活動のあり方や活動支援のあり方について検討する。	1,000	500	福祉あんしん課	6月、7月にアクティブ活動支援検討委員会を開催。事業全体の説明を行った。	10月27日に第3回アクティブ活動支援検討委員会を開催。高齢者の社会参画推進のための方策を検討する。
運動支援中核拠点の機能強化 遊びについての意識等調査結果、健康遊具ニーズ調査結果に基づき、外部有識者を招聘して遊具活用について検討、遊具の設置を行う。また、健康づくりと遊具の有効性についてのフォーラム開催により子どもから高齢者まで幅広い世代の意識啓発を行うとともに、遊具等を使用したの総合運動公園遊びプログラム開発委託、遊具設置設計の委託を行う。	30,500	15,250	社会教育課	7月22日にアクティブ活動支援検討委員会を開催、遊具設置事業をプロポーザルで行う方向となった。8月2日付告示で調達公告を行い、9月18日に選定委員会を開催し、プロポーザル方式で町民意見を受けつつ、ヘイセイ・大久保体器特定建設工事共同企業体を事業受託業者に選定した。	10月27日に第3回アクティブ活動支援検討委員会を開催し、遊具活用、子どもと高齢者の交流促進、子どもの外遊び活性化に向けて「冒険遊び場」の設置等について意見を受け、今後の方向性を検討していく。
合 計	31,500	15,750			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名: 広域観光連携推進事業負担金2次交通整備によるFIT受入対応実験事業

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
広域観光連携推進事業負担金 (広域観光連携推進事業) ・おもてなし・受入環境整備事業 ・プロモーション推進事業 ・情報発信事業 ・温泉地イメージ戦略事業 ・商品開発販売事業 ・誘客戦略事業 (鳥取中部観光推進機構負担金) ・マーケティング、プロモーションの専門職員の人件費支援	3,884	1,942	商工観光課	鳥取中部ふるさと広域連合が(一社)鳥取中部観光推進機構に対して委託する事業に係る連携市町村負担金。 4月から委託契約を行い、事業実施中である。	
合 計	3,884	1,942			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名: 未来を拓く ことら農・漁のまちづくり

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
物流コスト削減対策事業 物流コストを下げる仕組みを構築するため、複数の荷物を運搬する混載方式を試験的に実施する。	1,000	500	商工観光課	産業振興機構との協議の結果、物流の改善を行っても、半額までさがるということはなく、競争力のある価格にならない、中小の県内メーカーの場合は、物流コストが上乘せられても、買っていただける商品を目指すほうが良いとの意見であるため、業務委託は困難となった。	今後設立される鳥取の地域商社との連携により、物流の改善が図れないか検討していく。
琴浦ブランド確立事業 東京を拠点とする販路開拓コーディネーターの設置、首都圏での商談や消費者へのPRの機会を設けるほか、バイヤーを町内へ招致する。	8,000	4,000	商工観光課	ことら商品販路開拓事業 3年目を迎え、これまでの活動が身を結び、新規の取引成立に繋がっている。9月には大山乳業以外の地元業者の商談も成立した。 食のつば琴浦物産フェア 9月1日～2日、とっとり・おかやま新橋館で、物産フェアを実施した。 ・出店事業者 6事業者 ・来場者数 約600人 ・参加バイヤー数 5社	ことら商品販路開拓事業は、最終年度として、引き続き販路の開拓を目指す。 食のつば琴浦物産フェアについては、事業完了
生薬・機能性作物産地化事業 ほ場における試験栽培や収量を増加させるための研究や栽培指導を委託するほか、生産された生薬・機能性作物の販路開拓を行う。	3,000	1,500	農林水産課	市場のニーズが見込まれる作物を選定し、大父地内及び杉下地内のほ場に機能性作物を作付した。	今年度の栽培結果を踏まえ、栽培普及を推進していく。
新規就農者確保対策事業 生産者、JA、関係機関で研修内容等について協議を行っていくほか、田舎暮らし希望者を対象とした農業体験や、就農相談会を開催する。また、農業体験の観光メニュー化を目指し、農業体験の実施とあわせた民泊についても検討を行う。	200	100	農林水産課	7月にミニトマト、ブロッコリー、梨生産部等と農業研修の受け入れ等について意見交換を行い、研修制度等の検討を行った。	年内に研修制度についての詳細を決定し、4月からの受入を目指す。
ことら観光商品開発プロジェクト事業 プロ目線による新たな観光商品を磨き上げ、テストマーケティングや旅行会社等への売り込みといったPRを行う。	1,000	500	商工観光課	未実施	要協議
合計	13,200	6,600			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名:「活きがちがう！陸でギンザケの泳ぐ日本一のまち」新産業創出戦略事業

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
琴浦サーモン商品開発等委託業務 ギンザケを本町の新たな特産物として国内外に売り出すため、ギンザケを活用したメニューや農畜産物とのコラボレーション商品、ロゴの開発、販売方法の検討を行う。	2,000	1,000	商工観光課	未実施	今後の方針については、要協議
戦略的生産販売組織支援事業 町内外の様々な分野との連携を図るため、新たな組織を構築し、輸出事業に必要なノウハウやスキルの習得、新規相手国の情報不足を補うため、セミナー、商談会へ参加し情報の取得及び新規販路開拓を行う。	3,000	1,500	商工観光課	未実施	今後の方針については、要協議
合 計	5,000	2,500			

地方創生推進交付金事業進捗状況

事業名:名峰「大山」とともに生きる・鳥取県西部圏域の広域観光推進プロジェクト

事業	事業費 (千円)	交付金 (千円)	担当課	9月末時点での進捗状況	今後の事業計画(具体的に時期などを記入してください)
大山開山1300年祭ウォーキング・トレッキング活用事業 ・継続的な誘客の創出 ・PR・情報発信	1,000	500	商工観光課	10月21日(土)に一向平でトレッキングを実施予定	10月21日(土)に一向平でトレッキングを実施予定
合 計	1,000				